

久しぶりの八ヶ岳～リハビリ登山（個人山行）

（報告）IK

◎山行期日：2024年5月30日～6月1日

◎メンバー：IK

リハビリのためいつも低山ばかりやっているので少し登山のレベルアップを図るため、まずは高度順応から始めることにした。体への負担を軽くするため自動車で登山口に行くところを電車・バス・ケーブルで上がることにした。その条件に合う目的地は久しぶりの北八ヶ岳。特急で茅野へ、そして一日何本もないバスでケーブル下まで。運良く待たずにケーブルに乗ることができた。まずは順調だ。山頂駅で下車、帰りのバスを確認して出発。ご自慢の坪庭を回り、北横岳に向かう。登り始めると苔が出てきたり岩が出たりと一変する。それもこれも懐かしいし、楽しい。高山にやってきたという思いがする。一度休憩を挟んで1時間ほど登ると、歓迎するかのように「北横岳ヒュッテ」の大看板が目に入る。実にいい。登山者を元気づける。主人の人柄が表れているのだろう。安心安全を守る役割をしっかりと果たしていると感じ入った。

ちょうど昼なので小屋前のテーブルで昼食をとる。持ってきたお湯でカップラーメン。場所が変われば実にうまい。その間、近くで大きな音がしていたので主人が仕事をしているかと思っていると、顔をひょっこり出して「今日宿泊する者ですが」と言うので「仕事をしていて申し訳なかった。いま開けます」とこれまたいい感じである。今宵は期待できそうだ。荷物を預け北横岳に向かう。階段の急登がしばらく続くと、すぐに山頂へ到着。北横岳の南峰だ。戻ってきた老人たちに写真を依頼すると、すぐに受け入れてくれた。感謝である。

その後、若い二人づれに北峰どうでしたかと声をかけると「絶対に行って」と強く押され「すぐですよ」と言われ北峰へ。2480Mの山頂である。後ろには大きな蓼科山が迎え、展望はいい。ぐるっと360度近く、赤岳など南八ヶ岳もバッチリ、北・南アルプス、白馬岳等々よく見えていた。まだ1時を回ったところでゆっくりしていると、ベテラン登山家が上がってきた。話しかけて「隣の大岳はどうかね」と尋ねると「静かでいい山だ。6月になるとシャクナゲの登山道となるよ」と言って勧めてくれた。少し迷っていると「私も弁当をとっておきのところで食べるので途中まで一緒に行くよ」と誘ってくれた。



南八ヶ岳を望む



北横岳ヒュッテ



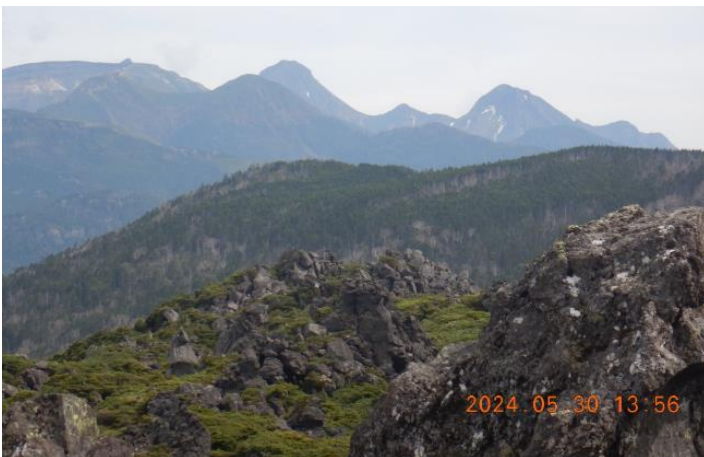
北横岳南峰

大岳に向かって出発。しばらく行くと鎖場がありそこでその登山者とも別れ、一人登山を始める。岩場もあり、かなり大変。午後になっているので少し焦りが出る。その時、着地の際に右足首をひねってしまった。痛いと思ったが、大丈夫そうなので続ける。50分ほどで山頂に着く。確かに誰もいない静かな山頂だ。風もなく爽やか。展望はやはり南ハケ岳が隣に鎮座している。圧巻だ。素晴らしい。

時間が気になるので山頂を早々に後にしてピストン。その際にヒュッテの主人に電話を入れて大岳まで来たことを話す。心配なくていい、少し遅れると。一度通過しているので記憶に残っている。少しずつ疲れを感じ始め 休み休み一歩ずつ戻る。1時間ほどでゆっくり北横岳に戻る。懐かしさも感じ、ほっとした。階段を降りてヒュッテに着く。主人は待っていて営業中の札をすぐに準備中に返した。もう人も来ないのだろう。主人に確かめると 驚くことにヒュッテの客は私一人。なんと贅沢な。恐縮してしまう。中に入ると 食堂も立派、部屋も清潔できれいだ。主人に立派ですネと言うと客が来なければ何にもならないと。持参の食事をとり、暖かい布団で就寝した。

未明より雨となり雨の音を聞きながら食事をする。予想はしていたのでビックリしないが、雨はやみそうもない。少しヒュッテで待たせてもらい次の山荘へ出発する。足首のこともあるし、雨模様であるため、ゆっくり一歩一歩確実に下山していく。相変わらず小雨が続いている。少し雨があがりそうになり明るくなってきた。坪庭につき半周して分岐へ。そこから十分ほど歩き、青い三角屋根の本日の宿縞柄山荘に着く。

主人もいた。早めの受付で少し休ませてほしいと伝えるが14時からですと冷たい対応、外近くに自炊用の椅子を持ってきて座らせてくれた。少しそこで休んでいると冷たい対応を悪いと思ったのか、雨なので散策コースを勧め、荷物を預かることも申し出てくれた。雨の時しか味わえない散策コースであると思い、勧めに従い軽みで出発。足首も痛めているので願ったりかなったりである。木道を山頂駅に戻りその手前を左へ。木道が延びて整備されている。この雨の中誰とも会わない。独り占めの自然が素晴らしい。しばらくして苔が出迎える。なんと素晴らしいことか。まさに非日常。苔がずっとお供することになる。左に縞柄山、右に南ハケ岳 まるで角さん助さんと一緒に歩むようだ。しかも一人だけで聞くカッコウのさえずりとせせらぎの音、自然の醍醐味を味わう。登山道が川ようになっていて避けながらのため、時間がかかったが目標の麦草ヒュッテに着く。時間がかかりすぎだが、思わずワインと蕎麦を頼む。どちらも美味。



大岳頂上より南ハケ岳を望む



縞柄山荘



苔の散策路



麦草ヒュッテ

このまま先に進もうと思ったが、宿の主人との電話で戻った方が良いとのことで、そこから引き返す。本音は行きたくはなかったが、渋々従う。同じ道なので楽ではあるが遠い。やっとの事で今朝のスタート地点に戻り、鹿の防御ネットの4時間閉鎖があったがクリアー。後で聞くとまだ始まってないと、早く言ってほしい。その日はずぶ濡れ、焦ったため疲れがあり、早めに就寝した。

翌朝は打って変わって快晴。思わず朝日の当たる縞柄山の写真を写す。足は思ったより調子が良いのでバス、特急電車の時間に余裕があるのでこのまま帰るのはもったいない。宿の主人に荷物預かりの相談をすると、荷物を全部持って行くと冷たくあしらわれる。あまり感じがよくなかったが、お礼を言い、荷物を全部持って6時に出発。すると昨夜の雨の後で木道が凍っていて滑り転ぶ。気をつけなくては慎重に進む。しばらく行くと縞枯山と雨池山の分岐にさしかかる。先に雨池山に行ってみようと思いが、なんと大きな石が一杯。めげずに進むがこんなことをやっても展望もない山頂と聞いているのでまずは縞枯山ではと断念。戻って縞枯山に向かう。高低差がさほどないのでしばらくして登頂。なんと展望なし。展望台は別に設置されているとのこと、そちらに向かう。20分ほどして大きな岩のある展望台へ。不慮の事故を十分気をつけながら岩の上へ。素晴らしい展望。感激。その後近くの茶臼山へ向かいその展望台にも登る。天気恵まれてここでも展望よし。



快晴の縞枯山



茶臼山展望台

下山して帰路へ。五辻まで 20 分ほどとあるが、なんと倍以上かかった。疲れている。足が動かない。だがそこからは昨日 2 度も通った道、ゆっくりゆっくり進む。途中展望台でお茶をしていると、ベテランの二人に会う。今日は人が多い、修学旅行生もいてごった返していると聞く。これは早く山頂駅まで行ったほうがよいと判断。その後休まないで山頂駅へ。だが、駅の改札は空いている、どうなっているのか駅員に尋ねると、11 時頃だけ混んでいたけど後はこんなものと応えた。ケーブルに乗り、ケーブル下まで。こうして二泊三日の快適な北ハヶ岳山行が終了した。

《コースタイム》

茅野駅（9：20）ーバスーケーブルカー（10：20）ー坪庭ー北横岳ヒュッテ（11：40）ー北横岳（12：45）ー大岳（15：45）ー北横岳ヒュッテ（16：10）（泊）ー坪庭ー縞枯山荘（10：00）ー五辻ー出逢いの辻ー狭霧苑ー麦草ヒュッテ（13：00）ー狭霧苑ー五辻ー縞枯山荘（16：00）（泊）ー縞枯山（7：00）ー展望台ー茶臼山（8：45）ー展望台ー五辻（10：00）ーケーブルバスー茅野駅（15：40）